



共生社会システム学会ニュースレター

The Association for Kyosei Studies News letter

2022年12月26日発行 第30号

目 次

1. 2022年大会（東京大学）の報告.....	1
2. 2023年大会（宇都宮大学）の開催について.....	2
3. 2022年度第1回理事会議事概要の報告.....	2
4. 新役員名簿.....	3
5. 2022年度第1回運営委員会議事概要の報告.....	4
6. 2022年度臨時運営委員会(大会準備)議事概要の報告.....	5
7. 『共生社会システム研究』編集委員会からのおしらせ.....	5
8. 学会内研究会の設置について.....	5
9. 運営委員会事務局だより.....	5
10. 会費納入のお願い.....	6

1. 2022 年度大会の報告

2022 年度共生社会システム学会大会は、2022 年 9 月 17 日(土曜)に東京大学にて開催されました。一昨年、昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてオンライン上での実施になりました。

大会シンポジウムは「変質する資本主義と共生社会形成の担い手—世界経済、環境・農業・協同の位相変化と地域再生への課題—」をテーマとし、以下の方々にご報告いただきました。

座長：古沢広祐（國學院大學）

第1報告：「変質する現代資本主義の行方 —構造変化と環境・資源・格差問題の動向—」

報告者：諸富徹（京都大学）

コメンテーター：市原あかね（金沢大学）

第2報告：「新自由主義的食料安全保障の破綻とパラダイム転換 —世界農業化路線から国民的農業路線へ—」

報告者：磯田宏（九州大学）

コメンテーター：秋山満（宇都宮大学）

第3報告：「共生社会システムに向けた「担い手」の広がり連携課題 —協同組合セクター、アソシエーション、社会的連帯経済—」

報告者：田中夏子（長野県高齢者生活協同組合理事長・協同総合研究所理事）

コメンテーター：武谷嘉之（大阪樟蔭女子大学（非））

個別報告は10件の発表があり、会員企画ワークショップとして、「ロヒンギャ難民・ディアスポラの『今』と Geosymbiosis / 地球共生に向けた国際社会の在り方」（代表：白鳥武（摂南大学））が開かれました。

大会に合わせて理事会と学会総会が開催され、今回改選となる新理事・監事の方々が推薦・承認されました。その他総会での議事事項は以下の通りで、いずれも出席者の賛成多数によって承認されました。

- (1) 2021年度事業報告
- (2) 2021年度決算報告
- (3) 2021年度決算の監査報告
- (4) 2022年度事業計画
- (5) 2022年度予算

今大会は、オンライン形式ではありましたが、特に多数の非会員の参加があり、盛況のうちに終えることができました。

2. 2022年度大会(宇都宮大学)の開催について(第1報)

2023年度大会は宇都宮大学にて開催いたします。原則対面といたします。
開催は9月半ばを予定しています。具体的な日程・テーマ等は追ってお知らせいたします。
会員各位の積極的なご参加をお願いします。

3. 2022年度第1回理事会 議事概要の報告

改選後の第1回理事会が下記の日程で開催され、理事30名中、18名の出席、9名の委任状によって成立しました。

日時：2022年10月30日（日） 17:00～19:00

場所：オンライン

報告事項：

2022年度大会報告

2022年度運営委員会開催およびニュースレター発行予定

学会の財政状況及び会員数の推移について

旧運営委員会からの提案について

審議事項：

担当理事の割り当て

今後の活動について意見交換

(会費の値上げ／減免、学会誌の電子化／J-STAGEへの対応について／今後の大会運営について(2023年度／2024年度)／学会活動の活性化／20周年へ向けた活動)

2021年度運営委員会からの提案により、今期より副会長3名の所掌業務が明確化されるとともに、理事の間でも職務を分担していくこととなりました。審議の結果、当面次の名簿に記載されている形で進めることとなり、学会の現状と課題について意見交換を行いました。

4. 2022-2023 年度 理事・監事名簿

No	氏名	担当	所属
1	朝岡 幸彦	会長*	東京農工大学
2	柏 雅之	大会総会・シンポ対応担当副会長（会長代行）*	早稲田大学
3	植木 美希	広報・会員対応担当副会長*	日本獣医生命科学大学
4	オプヒュルス鹿島・ライノルト	学会誌・研究交流担当副会長*	上智大学
5	岡野 一郎	運営委員長*	東京農工大学
6	武谷 嘉之	運営副委員長*	大阪樟蔭女子大学（非）
7	安藤 光義	編集委員長*	東京大学
8	桑原 考史	編集副委員長*	日本獣医生命科学大学
9	稲村 亮	総務担当理事*	農林統計出版
10	秋山 満		宇都宮大学
11	伊丹 一浩		茨城大学
12	市原 あかね		金沢大学
13	上柿 崇英		大阪府立大学
14	太田 和彦	企画担当理事	南山大学
15	片山 善博	学会誌・交流担当理事	日本福祉大学
16	呉 鳶	広報・会員対応理事	愛国学園大学
17	白鳥 武	学会誌・交流担当理事	摂南大学
18	関（山村）陽子	広報・会員対応理事	長崎大学
19	中尾 誠二	広報・会員対応理事	福知山公立大学
20	西山 未真		宇都宮大学
21	林田 朋幸		帝京大学
22	東山 寛		北海道大学
23	福田 鈴子		常葉大学
24	福留 和彦	学会誌・交流担当理事	大和大学
25	古沢 広祐	企画担当理事	國學院大學
26	増田 敬祐		東京農業大学
27	森 祐希子	学会誌・交流担当理事	東京農工大学
28	横田 茂永		静岡県立農林環境専門職大学
29	吉岡 徹	学会誌・交流担当理事	酪農学園大学
30	吉田 央	広報・会員対応理事	東京農工大学
監事	榎本 弘行		東京農工大学
監事	福田 恵		広島大学

※1～9により運営委員会を構成する。

5. 2022年度第1回運営委員会 議事概要の報告

改選後の第1回運営委員会が下記の日程で開催されました。

日時： 2022年12月3日 17：00～18：55

場所：オンライン

出席者：朝岡，稲村，植木，岡野，オプフェルス，柏，桑原，武谷（敬称略，50音順）

報告事項：

1) 入退会

岡野運営委員長より資料に基づいて説明があった。入会者1名，退会者なし

2) 編集委員会報告

桑原委員より資料に基づいて報告があった。

編集委員会で改正された投稿原稿審査方針が本運営委員会終了後回覧された。

審議事項：

1) 2023年度大会実行委員会について

18日の臨時運営委員会で本格的な議論をすることとした。

2) 2024年度大会の検討について

今後継続して審議することとなった。

3) ニュースレターについて

第1回理事会報告を掲載することとした。

連絡先として農林統計出版稲村氏を窓口とすることが審議の上，決定された。

4) 編集委員会内規改訂案について

審議の上，原案通り承認された。

5) 学会誌の電子化/J-STAGEへの対応について

稲村委員より資料に基づいて提案があった。

学会買い上げ以外にも図書館などにも納入されていることなどから，冊子での発行も続けることとなった。

J-STAGEに掲載するためには学会発行とする必要があると思われ，これについては先行して論文集として発行するなどの方法を検討することとなった。

XML作成等の作業は農林統計出版で対応してもらうことになったが，負担が大きい場合は費用負担などについても考えることとなった。

バックナンバーのJ-STAGEへの掲載については，例えば20周年記念事業の一つとして取り組むなどの案が出た。その際には農林統計出版に別途委託契約を結ぶなどの意見が出た。

6) 農林統計出版との契約について

稲村委員より資料に基づいて説明があった。

業務内容の見直しの結果，減額がなされたとの理解で原案が承認された。

正式な契約は理事会での承認後となる。

7) 学会内研究会の設置について

学会活動の活性化について朝岡会長より資料に基づいて提案があり，種々議論の上原案どおり共生社会システム学会内研究会を設置・運営していくこととなった。

8) その他

次回運営委員会を3月後半で調整することとなった。また，4月以降運営委員会を定例化していく方向で提案があり，今後検討していくこととなった。

6. 2022年度臨時運営委員会/兼第1回大会実行委員会議事概要の報告

臨時運営委員会が、第1回大会実行委員会を兼ねる形で下記の日程で開催されました。

日時：2022年12月18日 15:00～16:15

場所：オンライン

出席者：秋山，朝岡，稲村，岡野，柏，武谷（敬称略，50音順）

議題：2023年度大会の準備について

- ・原則対面での開催とし，シンポジウム等についてはオンライン参加も検討する。
- ・大会実行委員会の構成を検討し，当臨時運営委員会をもって第1回大会実行委員会とすることとした。今後シンポジウムについては企画担当副委員長を中心に準備を進め，3月に運営委員会とあわせて第2回大会実行委員会を開催することとした。

7. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ

現在，『共生社会システム研究』第17巻は，2023年9月の発行を目指して論文審査・編集を進めています。第18巻への投稿については次号のニュースレターでアナウンスをする予定です。

8. 学会内研究会の設置について

このたび，会員の日常的な研究・交流活動を支援する目的で，会員が運営している研究会を，「共生社会システム学会内研究会」として承認・支援していくことが決まりました。

承認される条件は，代表者を含む3名以上の会員（正会員でも学生会員でもかまいません）が研究会を運営していることです。

学会内研究会については，開催時には日程を会員等に対して公開していただき，定時大会等で研究成果を発表していただきます。

このことにより，研究会の活動を多くの会員に知ってもらうことができ，研究交流の機会が増えることが期待できます。

学会内研究会として運用したい会員の方は，運営委員長の岡野（i-okano(a)cc.tuat.ac.jp）までお問い合わせください。

9. 運営委員会事務局だより

このたび，理事の改選に伴い，運営委員会もほとんどが入れ替わりました。学会の運営はまったくの手探りから始めることとなりました。

当学会には可能性とともに課題が待ち構えています。懸案である会費や学会誌のあり方といった問題に取り組みつつ，当学会ならではの研究交流を進め，20周年へ向けて学会を活性化していきたいものです。第1回理事会では自由討論に時間を割きましたが，これは大変有意義だったと

思われます。引き続きよろしく願いいたします。

※事務局では会員の皆様からのニュースレター原稿を募集しています。会員の活動紹介や、会員が執筆・翻訳した著書・論文の紹介等も歓迎します。詳細は運営委員長の岡野 (i-okano(a)cc.tuat.ac.jp)までお問い合わせください。

10. 会費納入のお願い

2022年度会費の納入がまだのかたは、納入をお願いいたします。会費は、一般会員 6,000円、学生会員 3,000円、賛助会員 20,000円となっております。2021年度以前の会費を未納の方は、未納分も含めて納入をお願いいたします。

共生社会システム学会ニュースレター 第30号 2022年12月26日発行

編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局

連絡先 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 木下ビル4F

農林統計出版株式会社 内（担当：稲村）

TEL 03-3511-0058 / FAX 03-3511-0059 / E-Mail: inamura(a)angel.ocn.ne.jp

郵便振替 00130-6-372850 (加入者名) 共生社会システム学会